

**イギリスが誇る現代の「画家の中の画家」、待望の日本初個展！**

## ピーター・ドイグ展

会期：2020年2月26日（水）～6月14日（日）

会場：東京国立近代美術館 1階 企画展ギャラリー

この度、東京国立近代美術館、読売新聞社、ぴあは、今日、世界で最も重要なアーティストのひとりと言われるピーター・ドイグ（1959-）の、初期作から最新作までを紹介する日本初の展覧会「ピーター・ドイグ展」を開催します。



《ガストホーフ・ツァン・ムルデンタルシュベレ》2000-02年、油彩・キャンバス、196×296cm、シカゴ美術館 ©Peter Doig. All rights reserved, DACS & JASPAR 2019 C2966

この風景を、  
あなたは知っている。

### 【展覧会のみどころ】

- **現代アートのフロントランナー**として世界的な活躍を続けるピーター・ドイグの**日本初個展**です。
- テート（ロンドン、2008年）、パリ市立近代美術館（2008年）など、**世界の有名美術館で個展を開催**してきました。彼の作品は美術市場でも高い評価を得ており、代表作のひとつ《のまれる》（本展出品予定）は、オークションにおいて約2,600万米ドル（2015年当時**約30億円**）で**落札**されました。
- ゴッホやゴーギャンなどの近代画家の作品の構図やモチーフ、映画のワンシーン、写真、自身の体験した風景や記憶といったさまざまな要素から作り上げられている彼の作品は、**見る者の想像力や記憶を刺激**し、私たちが魅了してやみません。本展は、初期作から最新作まで、**選りすぐりの作品を紹介しつつ**、その制作手法に迫ります。
- **幅3メートル**を超える大型作品など、貴重な作品が一堂に会します。スマートフォンや印刷物では決して伝わらないスケール感を美術館で体感できる、またとない機会です。

## 【ピーター・ドイグの魅力紹介】

### ■ 世界中から注目を集める、現代アートのフロントランナー

ロマンティックかつミステリアスな風景を描く画家として知られるピーター・ドイグ。1990年代のデビュー以降、「現代アートのフロントランナー」として世界的な活躍を続けてきました。1994年に、主にイギリスで活躍する現代アーティストに贈られる名誉ある賞「ターナー賞」にノミネートされて以来、テート（ロンドン）、パリ市立近代美術館、スコットランド国立美術館（エジンバラ）、分離派会館（ウィーン）など、**名だたる美術館で個展が開催されてきました**。同世代、後続世代のアーティストに多大な影響を与え、過去の巨匠になぞらえて、しばしば「**画家の中の画家**」と評されています。

**美術市場でも高く評価されており**、彼の代表作のひとつ《のまれる》（本展出品予定）は、2015年のクリスティーズ・オークションで、約2,600万米ドル（当時約30億円）で落札されました。



《のまれる》1990年、油彩・キャンバス、197×241cm、ヤゲオ財団  
©Peter Doig. All rights reserved, DACS & JASPAR 2019 C2966

### ■ 多様なイメージの組み合わせによる、人々の想像力をかき立てる絵画

ピーター・ドイグの作品は一見、幻想的で、個人の想像力のみで生み出された光景のようにも見えます。しかしながら、それはゴーギャン、ゴッホ、マティス、ムンクといった近代画家の作品の構図やモチーフ、映画のワンシーンや広告グラフィック、自らが暮らしたカナダやトリニダード・トバゴの風景などの要素からつくりあげられています。

**多様なイメージによって構成された彼の作品は、いつかどこかで見たことがあるように感じられるため、私たちの想像力を刺激します**。さらにかヌーや人物といったモチーフは、色や形を変えてさまざまな作品に登場します。そうしたモチーフに注目し、作品間のつながりを発見することで、私たちの想像力は1枚の絵を超えて広がります。



《ポート・オブ・スペインの雨（ホワイトオーク）》2015年  
水性塗料・麻、301×352cm、マイケル ヴェルナー ギャラリー  
©The Artist, courtesy Michael Werner Gallery, New York and London.  
All rights reserved, DACS & JASPAR 2019 C2966

### ■ 日本も描いた！豊かな風景描写

カナダの湖畔やトリニダード・トバゴの海、さらには**日本のニセコのスキー場**まで、ピーター・ドイグはさまざまな風景を描いてきました。映画のワンシーンを参照することもあり、小津安二郎の『東京物語』を思い起こさせる作品もあります。

### ■ 幅3メートル超のインパクトある大型作品

本展では**複数の大型作品が出品され、なかには幅3メートルを超える大型作品**もあります。印刷物やスマートフォンでは伝わらないスケール感を、ぜひ美術館で体感してください。



《ラベイルズの壁》2004年、油彩・キャンバス、200×250.5cm、  
ニューヨーク近代美術館  
©The Artist, The Museum of Modern Art, New York. Gift of Anna Marie  
and Robert F. Shapiro in honor of Kynaston McShine.  
All rights reserved, DACS & JASPAR 2019 C2966

**【作家プロフィール】****ピーター・ドイグ / Peter Doig (1959-)**

1959年、スコットランドのエジンバラ生まれ。カリブ海の島国トリニダード・トバゴとカナダで育ち、90年、ロンドンのチェルシー・カレッジ・オブ・アート・アンド・デザインで修士号を取得。94年、ターナー賞にノミネート。02年よりポート・オブ・スペイン（トリニダード・トバゴ）に拠点を移す。テート（ロンドン、08年）、パリ市立近代美術館（08年）、スコットランド国立美術館（エジンバラ、13年）、バイエラー財団（バーゼル、14-15年）、分離派会館（ウィーン、19年）など、世界的に有名な美術館で個展を開催。



Photo: kazue kawase

**【開催概要】**

展覧会名(日) (英)	ピーター・ドイグ展 Peter Doig
会期	2020年2月26日[水] - 6月14日[日]
開館時間	10:00-17:00 金曜・土曜は20:00まで（入館は閉館30分前まで）
休館日	月曜日（ただし3月30日、5月4日は開館）、5月7日[木]
主催	東京国立近代美術館、読売新聞社、ぴあ
協賛	マイケル ヴェルナー ギャラリー
協力	ヤゲオ財団
会場	東京国立近代美術館 1階 企画展ギャラリー 〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園 3-1
アクセス	東京メトロ東西線「竹橋駅」1b 出口より徒歩3分
お問い合わせ	03-5777-8600（ハローダイヤル）
特設サイト	<a href="https://peterdoig-2020.jp">https://peterdoig-2020.jp</a>
同時開催	所蔵作品展「MOMAT コレクション」（会期：2020年2月11日[火・祝] - 6月14日[日]）

**【報道関係のお問い合わせ】**

ピーター・ドイグ展広報事務局 担当：中田、大迫（株式会社スキュー内）

〒107-0062 東京都港区南青山6丁目12-10 ユニティ501号室

TEL：03-6450-5457 FAX：03-5539-4255 E-mail：peterdoig-pr@skewinc.co.jp

ピーター・ドイグ作品画像《ガストホーフ・ツァ・ムルデンタールシュペレ》、《のまれる》、《ポート・オブ・スペインの雨（ホワイトオーク）》、《ラペイルーズの壁》を広報用にご利用いただけます。掲載をご希望の場合は広報事務局までお問い合わせください。